

## 編集後記

本務校で、COEプロジェクトに深く関わっている。国際的展開ということで、海外にもサブセンターを設け、地理学の研究者という立場もさることながら、大学をあるいはCOEプロジェクトを代表して、人文社会科学系のカウンターパートと、財務からプロジェクトそのものの運営などにタッチしてきた。上海での経験だけを述べると、中国でも211計画というCOE型の重点投資が拠点大学、学科に投下されている。あちらはファンドをさらに獲得することにも大きな力を割いており、その中で一部の地理学研究室は、生態学や計画系も含めて100人規模のスタッフを擁する体制を整備しつつある。まるで巨人であり、日本では自然地理と人文地理の独立が、小規模拡散で推移したことでほぼ確定的な状況のなか、日本のこの選択は正しかったのだろうか、大規模な連携共同の道はなかったのかと疑念の思いもよぎる。古い人間かもしれないが、地形や河川や土壌、あるいは情報学の基礎などの皮相なレベルでもよいが、大学でのある種のトレーニングは、今後研究が要請される方向性を考えると不可欠なように思われる。以前にも書いたが、地理学だけでもせめて関西地理学コンソーシアムのような組織が欲しいなあと思うこのごろ。

この出版母体である、山野正彦を研究代表とする科研プロジェクト「ポストモダンの景観論・空間論における「文化的転回」の影響とその評価に関する研究」の研究グループの活動方針に即した論文集、翻訳特集を、大々的に組んでみたいとの昨年度の編集後記のひとつの回答として、それにふさわしい翻訳論文が組まれたこと、翻訳者にはあつく御礼申しあげた次第である。

今回も、引き続き編集協力をいただいている花野孝史さんの(有)地域・研究アシスト事務所に大変お世話になった。いつものことながらお礼申し上げたい。PDFでの閲覧は、下記URLを参考にさせていただきたい。

<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/books.htm>

水内 俊雄

---

## 空間・社会・地理思想 第9号

発行日／ 2004年10月31日

編集／ 水内俊雄, (有) 地域・研究アシスト事務所

発行／ © 大阪市立大学大学院 文学研究科 地理学専修

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

電話 & ファックス 06-6605-2406

振替 00960-9-72384

(加入者名：大阪市立大学地理学教室)

mizuuchi@lit.osaka-cu.ac.jp

[http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/intro\\_mizuuchi.htm](http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/intro_mizuuchi.htm)

印刷／ ホウユウ株

〒590-0982 堺市海山町 1-8-4

電話 072-227-8231 ファックス 072-224-1466

---